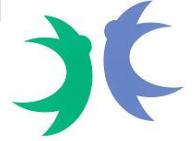


平成28年度 連結財務書類の概要



1. 作成目的

- ◆資産と負債の関係の明確化
- ◆市財政に関する透明性の確保

2. 作成基準・範囲等

- ◆作成基準 : 総務省方式改訂モデル
- ◆会計の範囲 : 普通会計、病院事業特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、居宅介護支援事業特別会計、簡易水道事業特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、新エネルギー事業特別会計、辺見診療所特別会計、白州診療所特別会計、土地開発事業特別会計、山梨県後期高齢者医療広域連合、山梨県市町村総合事務組合、峡北地域広域水道企業団、峡北広域行政事務組合、(財)北杜市農業振興公社、(株)おいしい学校、(株)スパティオ小淵沢
- ◆資産の範囲 : 昭和44年度以降に整備した市有の社会資本
- ◆市民一人当たりの金額は、北杜市住民基本台帳登録人口(平成29年3月31日現在)47,558人から算出。

3. 貸借対照表の概要

◆資産 2,587億2,277万2千円 (市民1人当たり544万0千円)

・有形固定資産 2,299億3,548万7千円

生活インフラ・国土保全	936億2,595万8千円
環境衛生	431億6,999万7千円
産業振興	402億5,890万9千円
教育	340億 982万7千円

・投資等 105億3,190万7千円

基金等	98億4,113万6千円
長期延滞債権	7億5,569万5千円
貸付金	4,766万3千円

・流動資産 154億395万1千円

資金	141億9,739万4千円
未収金	10億9,758万4千円

◆負債 735億5,556万4千円 (市民1人当たり154万7千円)

・固定負債 661億 760万4千円

地方債	604億6,384万5千円
退職手当引当金	48億7,089万2千円
借入金	2,510万0千円

・流動負債 74億4,796万0千円

地方債翌年度償還予定額	66億2,769万6千円
未払金	2億4,784万1千円
賞与引当金	5億3,780万5千円

※ 地方債残高は、固定負債の地方債及び流動負債の翌年度償還予定額の合算である。

604億6,384万5千円 + 66億2,769万6千円 → 670億9,154万1千円

- ◆純資産 1,851億6,720万8千円 (市民1人当たり389万4千円)
 - ・公共資産等整備国県補助金等 608億9,700万8千円 (市民1人当たり128万0千円)
 - ・公共資産等整備一般財源等 1,227億 796万9千円 (" 258万0千円)
 - ・その他一般財源等 13億8,976万6千円 (" 2万9千円)
 - ・資産評価差額 1億7,246万5千円 (" 4千円)

4. 行政コスト計算書の概要

- ◆行政コスト総額 508億8,597万6千円 (市民1人当たり107万0千円)

◆ 性質別コスト

- ・移転支出的なコスト 227億1,722万6千円 (市民1人当たり 47万8千円)
- ・物にかかるコスト 188億1,862万2千円 (" 39万6千円)
 - (うち減価償却費 104億6,189万6千円 (" 22万0千円)
- ・人にかかるコスト 75億3,114万7千円 (" 15万8千円)
- ・その他のコスト 18億1,898万1千円 (" 3万8千円)

※移転支出的・・・社会保障給付、補助金等、他会計への支出額、
他団体への公共資産整備補助金等
物・・・・・・物件費、維持補修費、減価償却費
人・・・・・・人件費、退職給与引当金繰入等、賞与引当金繰入額
その他・・・・・・支払利息、回収不能見込計上額

◆目的別コスト (主なもの)

- ・福祉 224億2,696万7千円 (市民1人当たり 47万2千円)
- ・環境衛生 77億3,167万7千円 (" 16万3千円)
- ・産業振興 59億5,446万1千円 (" 12万5千円)
- ・総務 38億7,265万7千円 (" 8万1千円)
- ・生活インフラ・国土保全 44億7,916万2千円 (" 9万4千円)
- ・教育 38億7,831万9千円 (" 8万2千円)

- ◆収入合計 163億4,368万9千円 (市民1人当たり 34万4千円)

- ・分担金・負担金・寄付金 81億1,873万2千円 (市民1人当たり 17万1千円)
- ・事業収益 46億3,442万1千円 (" 9万7千円)
- ・保険料 25億9,719万5千円 (" 5万5千円)

5. 資金収支計算書の概要

区分	収入の部	支出の部	差引
経常的収支の部	479億9,587万6千円	402億1,314万0千円	77億8,273万6千円
公共資産整備収支の部	56億1,175万4千円	66億5,645万2千円	△10億4,469万8千円
投資・財務的収支の部	20億4,157万4千円	78億6,053万8千円	△58億1,896万4千円
合計	556億4,920万4千円	547億3,013万0千円	9億1,907万4千円

当年度歳計現金増減額	9億1,907万4千円
期首歳計現金残高	77億6,285万2千円
経費負担割合変更に伴う差額	△6,424万5千円
期末歳計現金残高	86億1,768万1千円

プライマリーバランス（基礎的財政収支）

資金収支計算書に注記されているプライマリーバランスは、「歳入総額（繰越金を除く）から地方債発行額及び財政調整基金等の取崩額を除いたもの」から「歳出総額から地方債元利償還額及び財政調整基金等の積立金を除いたもの」を差引いて算出します。

【北杜市】

歳入総額	556億4,920万4千円
地方債発行額	△51億8,323万6千円
財政調整基金等取崩	△9億6,943万6千円
計	494億9,653万2千円
<hr/>	
歳出総額	547億3,013万0千円
地方債元利償還額	△75億8,515万0千円
財政調整基金等積立金	△2億7,517万2千円
計	468億6,980万8千円

$$494\text{億}9,653\text{万}2\text{千円} - 468\text{億}6,980\text{万}8\text{千円} = 26\text{億}2,672\text{万}4\text{千円}$$

算出した金額がゼロあるいはプラスであれば実質的な地方債の増加率は長期金利以下となり、経済成長率が長期金利を下回らない限り、経済規模に対する地方債の比率は増加せず、持続可能な財政運営であるといえます。